

**MERCURY**<sup>®</sup>  
*SmartCraft*  
取扱説明書



System Tachometer V.7.00

---

## 製品概要

---

基本操作と機能.....	1
エンジン自動検索機能.....	2
マスターリセット.....	3
警報と説明.....	4
警告表示画面.....	6
表示画面.....	11

---

### SC 1000 タコメーター

---

システムタコメーター表示画面.....	12
メンテナンス画面.....	15
タコメーターキャリブレーションメニュー： 速度制御、ライト、照度.....	16
タコメーター画面.....	18

---

### SC 1000 スピードメーター

---

スピードメーター表示画面.....	27
スピードメーターキャリブレーションメニュー 速度制御、ライト、濃淡、時間.....	30
スピードメーター画面.....	32

---

### トロールコントロール

---

トロールコントロールの操作.....	38
--------------------	----

---

### スマートトウ

---

クルーズコントロールの操作.....	41
正確な速度制御のキャリブレーション(オプション).....	43
発進コントロールの操作.....	45
カスタマイズされた発進の設定を作成する.....	47

---



# 製品概要

## 基本操作と機能

**注意:** 警報の説明画面は、2007年以降のエンジンで表示されません。



システムタコメーター



システムスピードメーター

**起動:** それぞれのゲージは、キー ONで起動します。キーがONの間はゲージはON状態を保持します。

**ライト:** ゲージの明るさとコントラストの調整が行えます。

**ボタン:** "MODE/SELECT" ボタンで画面に表示される項目を選択できます。"+"と"- "ボタンでトロール・コントロールのエンジンスピード及び、ゲージのキャリブレーションの設定を行います。

**トロールコントロール:** エンジンアイドル回転数を設定し、スロットル操作をすることなく、トローリングします。

**エンジン・ガーディアンシステム:** エンジンのセンサーをモニターして、異常を即座に検知します。このシステムは異常発生時にエンジン回転数を制限し、運転者に異常を知らせ、問題を最小限にとどめます。

**警告システム:** 警報ブザーを鳴らし、警告の説明表示を行います。

**重要:** スマートクラフトゲージ・バージョン4.0以降を使用する場合、水深、フューエル、パドルホイール、舵角などのオプションのセンサーは、Stbd(右舷側)エンジンに接続してください。

# 製品概要

## 触媒を使用する製品

キースイッチをONにすると、タコメーターは、2秒間ゲージの名前及びソフトウェアのバージョンを表示します。表示の左上には小さなエンジンのアイコンも表示されます。アイコンは、パワーパッケージが触媒を使用するOBDとして知られるオンボード診断装置を搭載していることを示します。アイコンは、システムに問題が発生している場合、起動時に表示されます。問題の発生を検知した場合、OBDアイコンが全てのシステム画面の左上に表示されます。



- a - OBD アイコン
- b - ソフトウェアバージョン

## エンジン自動検索機能

このシステムには自動検索機能がついています。この機能は自動的にどのタイプのエンジンを使用しているか等を検知します。

ゲージを初期起動後、もしくはマスターリセット後、ゲージに "AUTODETECT" と表示されます。"MODE/SELECT" ボタンを押すと、自動検索機能が起動し、エンジンタイプを決定した後、ここで選択されたエンジンタイプに適した表示画面になります。これは初期の設定を容易にするための機能です。



もしゲージに "NO STARBOARD ENGINE" または "MULTIPLE STARBOARD ENGINES" という警告が表示される場合は、販売店にて、診断ツールを使用して再設定する必要があります。

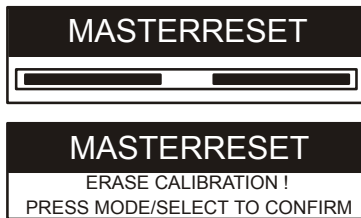
# 製品概要

## マスターリセット

マスターリセットは、ゲージを工場出荷状態に戻す際に使います。

**重要:** マスターリセットはユニットを工場出荷段階の状態に戻すものです。よって以前に設定したセットアップ内容や、全てのキャリブレーション等は消去されます。

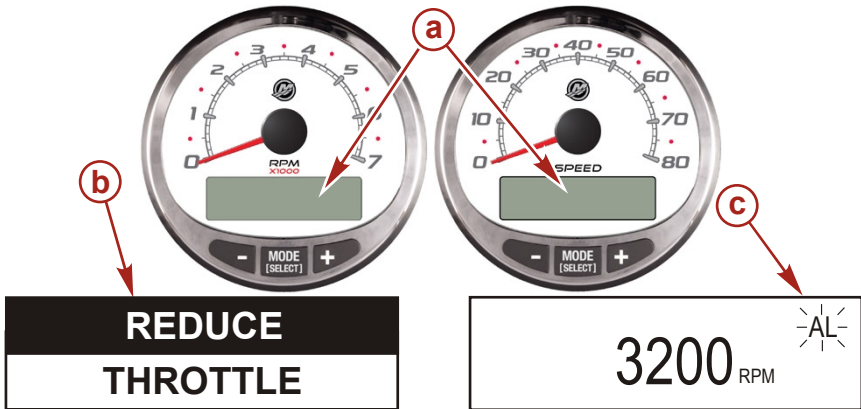
"-" と "+" ボタンを同時に約10秒間 長押し(グラフィックバーが繋がるまで)すると初期化されます。"MODE/SELECT" ボタンを押すと確認できます。



# 製品概要

## 警報と説明

注意: 2007年以降のエンジンの警告システムは、図のように表示されます。



- a - 表示画面
- b - エンジン・ ガーディアン・ システム
- c - 警告信号

問題を検知した場合、表示画面に警告の内容が表示されます。

もしエンジンに深刻な損傷を与える故障の場合は、ガーディアンが働きエンジン出力は制限されます。この場合はスロットルを戻し、エンジンをアイドリング回転まで下げてください。後述の「警告メッセージ表」を参照してください。更に詳しい説明や、適切な処置については サービスマニュアルを参照してください。

警告のメッセージは、"MODE/SELECT" ボタンを押すまで表示し続けます。もし、複数の警告がある場合は5秒サイクルで表示が入れ替わり表示されます。

"MODE/SELECT" ボタンを押して表示画面を切り替えた場合は、異常が解消されるまで画面右上に警告信号"AL" が点滅表示されます。

# 製品概要

メッセージの表示を伴うアラーム警告	
<div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; text-align: center;"><b>SYS FAULT</b></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: right;">[ SHOW ]</div>	"SYS FAULT" のバーは、システムに問題があることを示します。"SHOW" によって、問題のある部分を表示します。
<div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; text-align: center;"><b>STBD SYSTEM FAULT</b></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;"><b>&lt;FAULTY COMPONENT&gt;</b></p> <p style="margin: 0;">[ EXIT ]      [ NEXT ]      [ MORE ]</p> </div>	上のバーは、問題のある部分を示します。スクロールテキストは、問題のある部分を表示します。"NEXT" は、次のフォルトを表示します。"MORE" は、フォルトの概要を表示します。
<div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; text-align: center;"><b>STBD SYSTEM FAULT</b></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;"><b>&lt;FAULT DESCRIPTION&gt;</b></p> <p style="margin: 0;">[ EXIT ]      [ NEXT ]      [ ACTION ]</p> </div>	スクロールテキストは、フォルトの概要を表示します。"ACTION" は、操船者が行う必要のある行動が表示されます。
<div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; text-align: center;"><b>STBD SYSTEM FAULT</b></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;"><b>&lt;CORRECTIVE ACTION&gt;</b></p> <p style="margin: 0;">[ EXIT ]      [ NEXT ]      [ BACK ]</p> </div>	スクロールテキストは、操船者が行う行動の流れが表示されます。

## 説明のテキストを伴う排気ガス制御のフォルト

排気ガス制御システムに問題が検出された場合、エンジンアイコンと "OBD SERVICE SOON" 及びシステムフォルト画面が交互に点滅します。これら2個の画面は、"+" ボタンを押し、フォルトを表示させるまで、点滅を続けます。

問題が直ちにエンジンの損傷に繋がる場合、エンジンガーディアンシステムが作動し、エンジンの出力を制限します。直ちにエンジン回転数を下げ、警告の表示に従います。エンジン取扱説明書を参照し、問題の説明を理解し、取るべき正しい行動を理解します。

警告のメッセージは、"MODE/SELECT" ボタンを押すまで、表示された状態になります。複数の問題がある場合、5秒毎に表示が入替わります。



# 製品概要

表示画面を切替えるために"MODE/SELECT"ボタンを押した際に、画面左上にOBDエンジンアイコンが表示された場合。エンジンアイコンは、全ての画面に表示されます。販売店は、ポートを次回使用するまでに、問題を診断し、修理しなければなりません。

排出ガス浄化システムに関する問題の説明	
 <p>OBD SERVICE SOON</p>	<p>エンジンアイコンが "OBD SERVICE SOON." の説明と共に、画面中央に表示されます。画面は、"SYS FAULT"画面と3秒毎に切り替わります。</p>
<p><b>SYS FAULT</b> OBD SERVICE SOON [SHOW]</p>	<p>"SYS FAULT" バーが、システムに問題があることを示します。バーの下に "OBD SERVICE SOON" が表示されます。"SHOW" は、問題のある部分を表示します。</p>
<p>STBD SYSTEM FAULT 114 &lt;CRITICAL – IDLE AIR &gt; [EXIT] [MORE]</p>	<p>上のバーは、システムに問題がある部分とフォルト番号を表示します。説明のスクロールは、問題のある部分と問題の重要度を示します。 "MORE"は、問題の詳細な説明が表示されます。</p>
<p>STBD SYSTEM FAULT 114 &lt;CRITICAL – IDLE AIR &gt; [EXIT] [ACTION]</p>	<p>スクロールの説明は、フォルトの詳細を示します。"ACTION" は、操船者が取るべき必要な行動を示します。</p>
<p>STBD SYSTEM FAULT 114 &lt; RETURN TO PORT &gt; [EXIT] [BACK]</p>	<p>説明のスクロールは、操船者が取るべき行動の流れを示します。</p>

## 警告表示画面

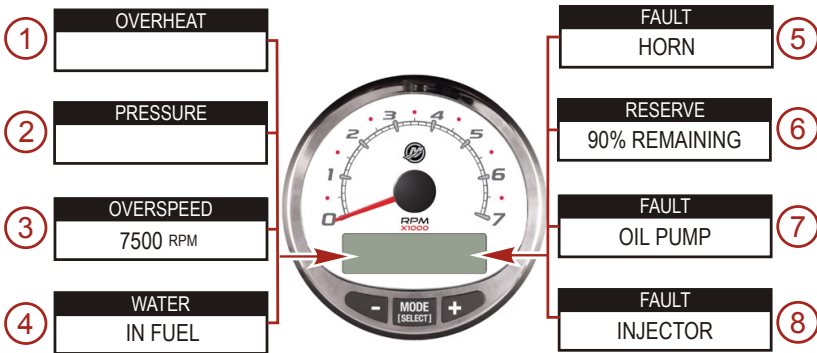
警告システムがエンジンの異常を検知すると、表示画面に警告メッセージが表示されます。エンジンのマニュアルを参照して異常を確認し、適切な処置を行ってください。

## 製品概要

問題	タコメーター表示	スピードメーター表示
BATTERY	×	
ENGINE DATA BUS	×	
FAULT - HORN	×	
FAULT - IGNITION	×	
FAULT - INJECTOR	×	
FAULT - OIL PUMP	×	
FAULT - SENSOR	×	
FAULT - WATER TEMP	×	
LOW FUEL		×
LOW OIL		×
FAULT - OIL TEMP	×	
OIL PSI	×	
OVERHEAT	×	
OVERSPEED	×	
FAULT - OIL PRESSURE	×	
RESERVE OIL	×	
SYSTEM FAULT - OBD SERVICE SOON	×	
WATER IN FUEL	×	
FAULT - MAP	×	
FAULT - MAT	×	
FAULT - TPS	×	

## 製品概要

**注意:** エンジンの種類、ボートのオプションによって表示が異なる場合があります。

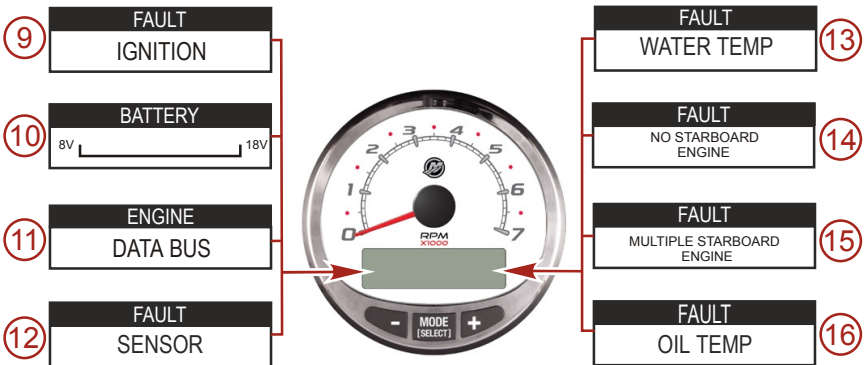


**重要:** マニュアルを参照し、異常に対して適切な判断と処置を行って下さい。もし問題が解消されない場合は、販売店へ連絡してください。

1. **OVERHEAT:** エンジンのオーバーヒート。
2. **PRESSURE:** 冷却システムの水圧異常。
3. **OVERSPEED:** エンジン最大許容回転域の超過。
4. **WATER IN FUEL:** 水分離フューエルフィルターに規定以上の水が混入。
5. **FAULT - HORN:** 警告ブザーが正常に機能していない。
6. **RESERVE OIL LOW - 2-ストローク船外機のみ:** エンジンに取付けられたオイルリザーバーのレベルが低下。
7. **FAULT - OIL PUMP:** オイルポンプが電氣的に機能を停止しました。エンジンに潤滑油が供給されていません。
8. **FAULT - INJECTOR:** 1個以上のフューエルインジェクターが電氣的に機能していません。

## 製品概要

注意: エンジンの種類、ボートのオプションによって表示が異なる場合があります。



9. **FAULT - IGNITION:** イグニッションシステムに問題を検知しました。
10. **BATTERY:** バッテリー電圧が低い、または充電システムが機能していない。
11. **ENGINE DATA BUS:** タコメータとエンジン間でデータ通信が出来ていない。
12. **FAULT - SENSOR:** いずれかのセンサーが正常に機能していない。
13. **FAULT - WATER TEMP:** 湖水/海水の温度を測定するためのセンサーが正常に機能していない。
14. **FAULT - NO STARBOARD ENGINE:** 右舷エンジンのデータが検出されていない。多くはエンジンコンピューターからゲージに信号が伝達されていない事が考えられます。バス回路にターミネーターレジスターが取り付けられているか確認してください。  
CDSを使ってPCM/ECMを正しく検知させてください。

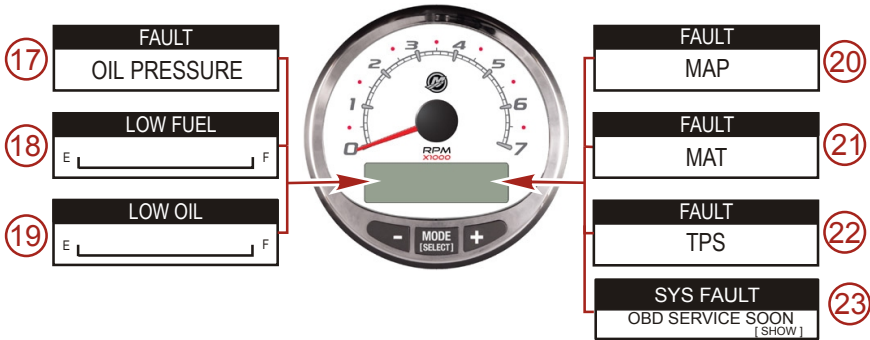
15. **FAULT - MULTIPLE STARBOARD ENGINE:** スマートクラフトゲージが2機とも右舷と検知している状態です。

**注意:** 複数のエンジンを搭載する場合、システムを適切に機能させるために、CDSを使用し、各エンジンの位置(*starboard, port, starboard2, or port2*)を設定しなければなりません。

## 製品概要

16. **OIL TEMP:** エンジンオイルの油温異常。

**注意:** エンジンのモデル及びボートのオプションによって、表示が異なる場合があります。



17. **FAULT - OIL PRESSURE:** エンジン油圧の異常。

18. **LOW FUEL LEVEL:** 燃料残量が少なくなっています。直ちに給油を行ってください。

19. **LOW OIL LEVEL - 2-ストローク船外機のみ:** リモートオイルタンクの残量が少なくなっています。直ちに給油してください。

20. **FAULT - MAP:** エンジンの異常です。ディーラーに点検を依頼してください。

21. **FAULT - MAT:** エンジンの異常です。ディーラーに点検を依頼してください。

22. **FAULT - TPS:** エンジンの異常です。ディーラーに点検を依頼してください。

23. **SYSTEM FAULT - OBD SERVICE SOON:** エンジン排気ガス制御システムの異常です。ディーラーに点検を依頼してください。

# 製品概要

## 表示画面

タコメーター表示画面	スピードメーター表示画面
Engine Break-in (2-ストローク船外機のみ)	Clock - Air/Sea Temp
Engine Temperature	Fuel Used
Oil Temperature	Cog - GPSの入力がある場合
Oil PSI	Distance and Fuel to Waypoint
Trim and RPM	Speed
Trim and Water Pressure	Estimated Range
Water Pressure	Instant and Average Fuel Economy
Battery Voltage and Engine Hours	Trip Odometer
Fuel Flow and Fuel Used	Fuel Tank Levels
Speed and Sea Temperature	Oil Tank Levels
Battery Voltage	Fresh Water Levels
% Fuel Remaining (燃料タンク 1)	Waste Water levels
Depth	Steering Angle (マークルーザーのみ)
Trim Position	Tabs
Fuel PSI	<b>2基掛け</b>
RPM	Trim and RPM Synchronizer
Maintenance	
Quick Reference Screen Battery, Temperature, PSI	

# SC 1000 タコメーター

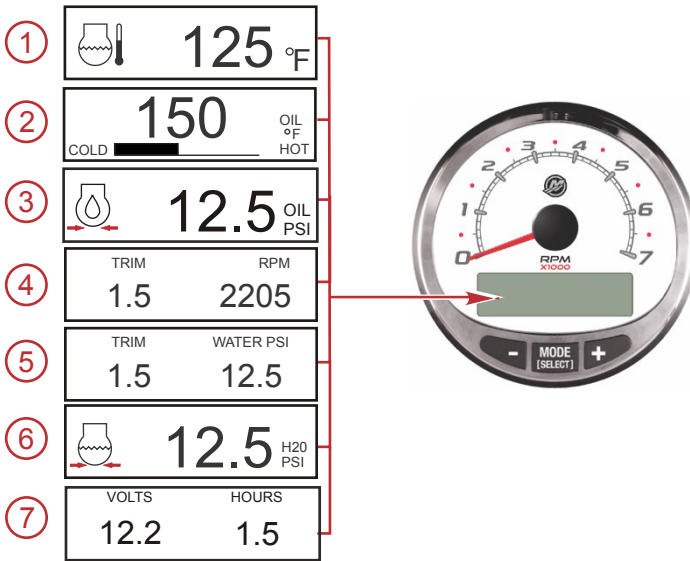
## システムタコメーター表示画面

キースイッチをONにすると、タコメーターの表示は、キースイッチをOFFした時の表示になります。

"MODE/SELECT" を押すと、表示画面が変わります。以前の画面に戻る場合は、"MODE/SELECT" ボタンを2秒間押し続けます。

**注意:** 表示は、インチ又はメートルで表記できます。タコメーター画面を参照してください。

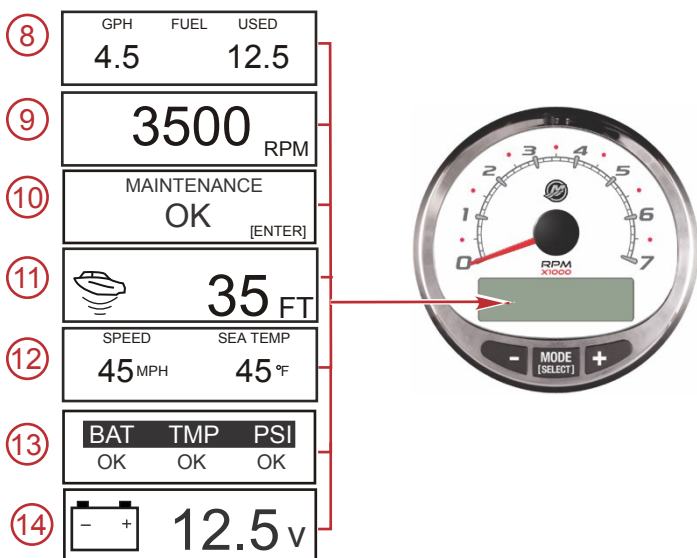
**注意:** エンジンのモデル及びボートのオプションによって、表示が異なる場合があります。



1. **Temperature:** エンジン冷却水温度を表示します。
2. **Oil Temperature:** エンジンオイルの温度を表示します。
3. **Oil Pressure:** エンジンオイルの圧力を "PSI" 又は"BAR"で表示します。
4. **Trim and RPM:** エンジン回転数とトリム位置を表示します。
5. **Power Trim Angle:** 船外機のトリム角もしくは、スタンドライプの最大トリム角、そしてトレーラー角を表示します。0 = ダウン、10 = 最大トリム角、25 = フルトレーラー。

## SC 1000 タコメーター

- Water Pressure:** エンジン冷却システムの水圧を表示します。
- Battery Voltage:** バッテリーの電圧(状態)を表示します。また、エンジンの稼動時間も記録されます。



- Fuel Flow:** 燃料の消費量をガロン/アワー(G/h)もしくは、リッター/アワー(L/h)で表示します。
- Digital Tachometer:** エンジン回転数をRPMで表示します。
- Maintenance:** 表示は、エンジンが "OK" であるか、定期的なメンテナンスが必要な場合に表示されます。このメンテナンス画面は、100時間のメンテナンス周期に基づいています。取扱説明書のメンテナンススケジュールの推奨を参照してください。

**注意:** 取扱説明書に記載の格納前点検及びシーズン前点検等を行なった場合は、メンテナンスサイクルをリセットしてください。



## SC 1000 タコメーター

11. **Water Depth:** 振動子を取り付けている場合、水深を表示します。この表示は、タコメーター画面でON,OFFの切り替えができます。設定された水深よりも浅くなるとアラームで通知するように設定できます。詳しくは、タコメーター画面の水深アラームとオフセット セッティングを参照してください。

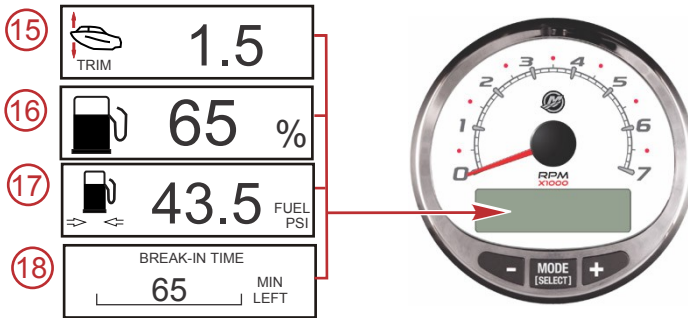
**注意:** この画面を操作するためには、トランスデューサー (別途購入) を接続しなければなりません。

12. **Speed/Temp:** 海水温度と速度を分割画面で表示します。

**注意:** この画面を操作するためには、速度入力センサーを接続しなければなりません。

13. **Quick Reference Screen:** バッテリー、エンジン温度、圧力が正常に作動していることを示します。

14. **Battery Voltage:** 現在のバッテリー電圧を表示します。



15. **Power Trim Angle/Water Pressure:** 冷却システムの水圧及びトリムの角度を表示します。

16. **Fuel Percentage:** 燃料タンク内にある燃料の割合を表示します。

17. **Fuel Pressure:** エンジン燃料圧を表示します。

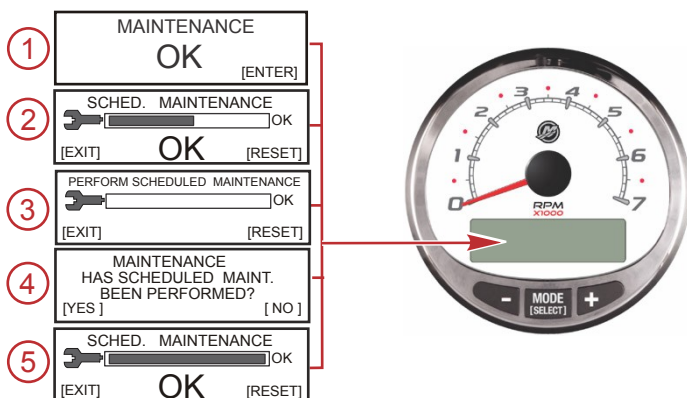
18. **Engine Break-in:** 新しいエンジンの慣らし運転期間の残り時間を表示します。慣らし運転時間終了後、この画面は、自動的に消えます。

# SC 1000 タコメーター

## メンテナンス画面

幾つかの4-ストロークパワーパッケージモデルには、定期メンテナンス以降の累積時間を推定する能力を持っています。通常の定期メンテナンスは、100時間の設定になっています。メンテナンス画面は、次のメンテナンスまでの残り時間をバーグラフで表示します。メンテナンス画面をリセットすると、バーグラフは、残り100時間を示すように変化します。この画面を表示させるためには、メンテナンス画面をONにする必要があります。エンジン取扱説明書にあるメンテナンススケジュールは、ゲージの表示に係わらず行なわなければなりません。この機能をONにするためには、**タコメーター表示画面**を参照してください。

1. メンテナンス画面が表示された場合、"ENTER"を押し、メンテナンスが推奨されるまでの時間を確認します。



2. メンテナンス画面は、次のメンテナンスまでの残り時間をバーグラフで表示します。"EXIT" を押しと、前の画面に戻ります。"RESET" は、定期メンテナンスを行った後に時間をリセットします。

## SC 1000 タコメーター

3. 定期メンテナンスの100時間を過ぎた場合、画面には "PERFORM SCHEDULED MAINTENANCE" と表示され、バーグラフは、表示されません。 "EXIT" を押して元の画面に戻るか、 "RESET" を押します。
4. "RESET" を押した後、画面は "MAINTENANCE" に進みます。 "MAINTENANCE" 画面は、 "HAS SCHEDULED MAINT. BEEN PERFORMED?" と表示しますので、 "YES" を押してメンテナンススケジュールをリセットするか、 "NO" を押して前の画面に戻ります。
5. "YES" を押した後、画面にはバーグラフが表示され、次の定期メンテナンスまでの100時間が表示されます。 "EXIT" を押し、 "MAINTENANCE OK" 画面に戻ります。

### タコメーターキャリブレーションメニュー： 速度制御、ライト、照度



#### タコメーターメニュー

1. "MENU"画面が表示されるまで、2秒間"MODE/SELECT"及び "+" ボタンを同時に押し続けます。
2. "MODE/SELECT" を押し、 "speed control and"を飛ばし、キャリブレーションメニューの次に進みます。
3. "+" 又は "-" を押し、設定を変更します。

# SC 1000 タコメーター

タコメーターメニュー	
<p>SPEED CONTROL TROLL CONTROL ? ENABLED [ NO ] [SAVE] [ YES ]</p>	<p>トルールコントロールは、エンジン回転数を使用するように、タコメーターで設定しなければなりません。トルール機能を制御するためにエンジン回転数を使用すると、ボートの速度は、風、波、潮流の影響を受けて変化します。</p>
<p>LIGHT [DOWN] [SAVE] [ UP ]</p>	<p>ゲージライトの照度を調整します。</p>
<p>CONTRAST [DOWN] [SAVE] [ UP ]</p>	<p>表示画面の濃淡を調整します。</p>
<p>REMOTE LCD LIGHT ? [ NO ] [SAVE] [ YES ]</p>	<p>このゲージから全てのゲージの照明レベルを調整します。"YES" を選択すると、システム内の全てのタコメーターが、このタコメーターの設定と同じになります。この機能を有効にするためには、全ての設定を "YES" にする必要があります。</p>
<p>REMOTE LCD CONTRAST ? [ NO ] [SAVE] [ YES ]</p>	<p>このゲージから全てのゲージの濃淡レベルを調整します。"YES" を選択すると、システム内の全てのタコメーターが、このタコメーターの設定と同じになります。この機能を有効にするためには、全ての設定を "YES" にする必要があります。</p>
<p>SPLASH SCREEN MERCURY [SKIP] [EDIT]</p>	<p>スプラッシュ画面の名前を編集することができます。"+" を押し、名前を編集するか、"MODE/SELECT" を押し、スプラッシュ画面の名前を編集をスキップします。</p>
<p>SPLASH SCREEN MERCURY [DOWN] [NEXT] [ UP ]</p>	<p>スプラッシュ画面の名前は、9スペース入力できます。各スペースには、空白を含む59文字が用意されています。"-" 又は "+" ボタンを押し、文字を変更します。"MODE/SELECT" ボタンを押し、次のスペースに進みます。スプラッシュ画面オプションを終了する前に、全てのスペースに入力する必要があります。</p>

# SC 1000 タコメーター

タコメーターメニュー	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><b>LOCAL LIGHT</b></p> <p>[DOWN]    [SAVE]    [UP]</p> </div>	ローカル画面のライトのレベルを調整できます。

## タコメーター画面

このキャリブレーションでは、システム画面をON/OFFします。

**注意:** エンジンモデル及びボートのオプションによって、全ての画面が表示されない場合があります。

1. "MODE/SELECT" 及び "+" ボタンを"SCREENS"が表示されるまで7秒間同時に押し続けます。
2. "-" 又は "+" ボタンを押し、画面の [ ] 内に表示されるオプションから選択します。
3. "MODE/SELECT" を押し、設定を保存し、キャリブレーション画面を次に進みます。

タコメーター表示画面	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>QUICK REF SCREEN ?</p> <p>[ NO ]      [SAVE]      [ YES ]</p> </div>	クイックリファレンス画面の表示を選択します。"YES" がONになり、"NO"がOFFになります。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>ENGINE TEMP SCREEN ?</p> <p>[ NO ]      [SAVE]      [ YES ]</p> </div>	エンジン温度画面の表示を選択します。"YES" がONになり、"NO"がOFFになります。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>OIL TEMP SCREEN ?</p> <p>[ NO ]      [SAVE]      [ YES ]</p> </div>	オイル温度画面の表示を選択します。"YES" がONになり、"NO"がOFFになります。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>OIL PRESS SCREEN ?</p> <p>[ NO ]      [SAVE]      [ YES ]</p> </div>	油圧画面の表示を選択します。 "YES" がONになり、"NO"がOFFになります。

# SC 1000 タコメーター

タコメーター表示画面	
<p>TRIM AND PSI SCREEN ?</p> <p>[ NO ]      [SAVE]      [ YES ]</p>	<p>トリム角及び水圧の分割表示を選択します。 "YES" がONになり、"NO"がOFFになります。</p>
<p>WATER PSI SCREEN ?</p> <p>[ NO ]      [SAVE]      [ YES ]</p>	<p>水圧画面の表示を選択します。"YES" がONになり、"NO"がOFFになります。</p>
<p>TRIM AND RPM SCREEN ?</p> <p>[ NO ]      [SAVE]      [ YES ]</p>	<p>トリム角及びエンジン回転数の分割表示を選択します。 "YES" がONになり、"NO"がOFFになります。</p>
<p>RPM SCREEN ?</p> <p>[ NO ]      [SAVE]      [ YES ]</p>	<p>エンジン回転数画面の表示を選択します。 "YES" がONになり、"NO"がOFFになります。</p>
<p>FUEL USED SCREEN ?</p> <p>( NO )      (SAVE)      ( YES )</p>	<p>燃料消費画面の表示を選択します。"YES" がONになり、"NO"がOFFになります。</p>
<p>FUEL PSI SCREEN ?</p> <p>( NO )      (SAVE)      ( YES )</p>	<p>燃料圧力画面の表示を選択します。"YES" がONになり、"NO"がOFFになります。</p>
<p>VOLT / HOUR SCREEN ?</p> <p>[ NO ]      [SAVE]      [ YES ]</p>	<p>電圧及びエンジン運転時間の分割表示を選択します。"YES" がONになり、"NO"がOFFになります。</p>
<p>SPEED / SEA SCREEN ?</p> <p>[ NO ]      [SAVE]      [ YES ]</p>	<p>速度及び海水温度の分割表示を選択します。 "YES" がONになり、"NO"がOFFになります。</p>

# SC 1000 タコメーター

タコメーター表示画面	
<p>SEA TEMP</p> <p>OFFSET = °F            (DOWN) (SAVE) (UP)</p>	<p>海水温度センサーのエラーを修正します。            "DOWN" 又は "UP"を押します。</p>
<p>DEPTH SCREEN ?</p> <p>[ NO ] [SAVE] [ YES ]</p>	<p>水深画面の表示を選択します。"YES" がON            になり、"NO"がOFFになります。</p>
<p>REMOTE SCREENS ?</p> <p>[ NO ] [SAVE] [ YES ]</p>	<p>全てのSC1000タコメーターが (YES)の場            合、同じ画面を表示します。ステーション1            のタコメーターが水深を表示している場            合、ステーション2のタコメーターも同じ画            面を表示します。</p>
<p>HIGH RESOLUTION TRIM ?</p> <p>[ NO ] [SAVE] [ YES ]</p>	<p>"YES"を選択した場合、トリム角度を0.1°単            位で表示します。</p>
<p>TRIM POPUP ?</p> <p>[ NO ] [SAVE] [ YES ]</p>	<p>"YES" を選択した場合、トリムの設定を変更            した際に、画面にポップアップ表示します。</p>
<p>SCREENS  <b>EXIT ?</b></p> <p>[ NO ] [ YES ] [CAL ]</p>	<p>"NO"を選択すると、画面の選択に戻りま            す。"YES"を選択すると、画面を終了しま            す。"CAL" を選択すると、タンクレベルの            設定に進みます。フューエルタンクキャリブ            レーションを参照してください。</p>

## フューエルタンクキャリブレーション

1. "MODE/SELECT" 及び "+" ボタンを"SCREENS"が表示され  
 るまで7秒間同時に押し続けます。
2. "MODE/SELECT" を押し、EXIT ? が表示されるまで画面を  
 進めます。"+" ボタンを押し、Fuel Tank Calibrationに進み  
 ます。

フューエルタンクレベルの監視機能の設定には、3つの方法があり  
 ます。:

- 何もしません。センサーの値をそのまま反映します。この  
 モードは、不規則な形状のタンクに有効です。

## SC 1000 タコメーター

- 燃料を入れずにタンクキャリブレーションの手順を行います。容量を基にセンサーの範囲値を推定の容量に当てはめません。このモードでは、不規則なタンク形状を考慮していません。タンクキャリブレーションのために、フューエルタンク容量を入力しなければなりません。表示は、センサーの値を反映します。
- 各規定値まで実際に燃料を入れて設定を行う方法です。システムは、タンク形状に基づいた値を表示します。燃料を実際に 1/4, 1/2, 3/4, と給油して設定を行います。タンクキャリブレーションの設定に失敗すると、自動的にリッター/ガロン容量のデフォルトに戻ります。

タンクキャリブレーション	
CALIBRATION FUEL TANK 1 CAPACITY CAPACITY = 26.2 G [DOWN] [SAVE] [UP]	タンクの容量を入力します。"DOWN" 又は "UP" を選択し、タンク容量を設定します。次に "SAVE" を押します。このオプションは、タンクと同じです。
CALIBRATION FUEL TANK 1 [SKIP] [EDIT]	"EDIT" を選択し、フューエルタンクのキャリブレーションモードに入ります。キャリブレーションの手順は、全てのタンクと同じです。"EDIT" を選択し、タンクキャリブレーションを始めます。
TANK CALIBRATION : DEFAULT CALIBRATION, OR ADD FUEL ? [DFLT] [ADD]	"DFLT" を選択し、タンクレベルの設定を行います。"ADD" を選択した場合、実際に燃料を給油してタンクレベルの設定を行います。
CALIBRATING : EMPTY TANK THEN PRESS PLUS BUTTON [SKIP] [SAVE]	タンクが空の状態。"+" ボタンを押し、空のレベルを認識させます。
FILL TANK TO 1/4 THEN PRESS PLUS BUTTON [SAVE]	タンクの 1/4 まで給油します。"+" ボタンを押し、1/4のレベルを認識させます。



# SC 1000 タコメーター

タンクキャリブレーション	
FILL TANK TO ½ THEN PRESS PLUS BUTTON [SAVE]	タンクの 1/2 まで給油します。"+" ボタンを押し、1/2のレベルを認識させます。
FILL TANK TO 3/4 THEN PRESS PLUS BUTTON [SAVE]	タンクの 3/4 まで給油します。"+" ボタンを押し、3/4のレベルを認識させます。
FILL TANK TO FULL THEN PRESS PLUS BUTTON [SAVE]	タンクの満タンまで給油します。"+" ボタンを押し、満タンのレベルを認識させます。
CALIBRATION TANK 2 INPUT OIL TANK [DOWN] [SAVE] [ UP ]	タンクのタイプを選択します。not installed, fuel tank 2, water tank, 又は waste tank。Oil tankは、OptiMaxにのみ使用します。 <b>注意：</b> 全てのタンクは、前述のように設定できません。

## CALIBRATION-FUEL USED

- "MODE/SELECT" 及び "+" ボタンを"SCREENS"が表示されるまで7秒間同時に押し続けます。
- "MODE/SELECT" を押し、EXIT?が表示されるまで画面を進めます。"+" ボタンを押し、Fuel Tank Calibrationに進みます。
- "MODE/SELECT" を押し、Calibration-Fuel Usedの選択まで進みます。

燃料消費キャリブレーション	
CALIBRATION FUEL USED (SKIP) (EDIT)	燃料消費の設定方法を選択します。"+" を押し、"EDIT" を選択するか"MODE/SELECT" を押して、設定をスキップします。
FUEL USED CAL : ENTER MULTIPLIER, OR REFUELED ? [MULT] [FUEL]	燃料消費設定の方法を乗数又は給油の何れかから選択します。"- " を押して乗数"MULT"を選択するか、"+" を押して給油"FUEL"を選択します。

# SC 1000 タコメーター

燃料消費キャリブレーション	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           FUEL USED CAL :            MULTIPLIER = 1.0            [DOWN] [SAVE] [UP]         </div>	<p>0.50 から 1.50の乗数を調整します。"- "で "DOWN"を選択するか "+" で "UP"を選択します。</p> <p>乗数は、燃料消費のエラーを修正するためにフューエルゲージセンサーを微調整します。ゲージが10ガロンの燃料を消費したと示しているにも拘らず、実際には14ガロンの燃料を給油した場合、乗数を1.40に変更します。ゲージが10ガロンの燃料を消費したと示しているにも拘らず、実際には8ガロンの燃料を給油した場合、乗数を0.80に変更します。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           FUEL USED CAL :            AMOUNT            REFUELED = 0.0 G            [DOWN] [SAVE] [UP]         </div>	<p>燃料消費の設定を燃料の給油量で調整します。"- "で "DOWN"を選択するか "+" で "UP"を選択します。</p> <p>フューエルオプションの機能は、乗数と同じです。ゲージが10ガロンの燃料を消費したと示しているにも拘らず、実際には14ガロンの燃料を給油した場合、給油量を14.0に変更します。ゲージが10ガロンの燃料を消費したと示しているにも拘らず、実際には8ガロンの燃料を給油した場合、給油量を8.0に変更します。ゲージは、乗数を計算し、自動的に数値を変更します。</p>

## 外部センサーのキャリブレーション

1. "MODE/SELECT" 及び "+" ボタンを "SCREENS" が表示されるまで7秒間同時に押し続けます。
2. "MODE/SELECT" を押し、EXIT ? が表示されるまで画面を進めます。 "+" ボタンを押し、Fuel Tank Calibrationに進みます。
3. "MODE/SELECT" を押し、Calibration-External Sensorsの選択まで進みます。

タコメーターキャリブレーション - 外部センサー	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           CALIBRATION            EXTERNAL SENSORS ?              [SKIP] [EDIT]         </div>	<p>システムに取付けられた外部センサーの設定を行います。"SKIP" を選択すると speed optionsに進みます。"EDIT" を選択すると外部センサーの選択に進みます。</p>

# SC 1000 タコメーター

タコメーターキャリブレーション - 外部センサー	
CALIBRATION EXTERNAL SENSORS PITOT SENSOR ? ▶YES [ NO ] [SAVE] [YES ]	ボートの速度を計測するピトーセンサーが付いている場合。"-" を押し "NO" を選択するか、"+" を押し "YES" を選択します。
CALIBRATION EXTERNAL SENSORS PADDLE SENSOR ? ▶YES [ NO ] [SAVE] [YES ]	ボートの速度を計測するパドルホイールが付いている場合。"-" を押し "NO" を選択するか、"+" を押し "YES" を選択します。 注意: YES を選択した場合、速度の推移を設定できるようにする必要があります。
CALIBRATION EXTERNAL SENSORS USE GPS SPEED ? ▶YES ( NO ) (SAVE) (YES )	速度の表示にGPS 入力を使用する場合。"-" を押し "NO" を選択するか、"+" を押し "YES" を選択します。 注意: Smart Tow スピードオプションを使用する場合は、YES を選択する必要があります。
CALIBRATION EXTERNAL SENSORS TRIM SENSOR ? ▶YES [ NO ] [SAVE] [YES ]	ボートにトリムセンサーが付いている場合。"-" を押し "NO" を選択するか、"+" を押し "YES" を選択します。
CALIBRATION EXTERNAL SENSORS SEA TEMP ? ▶YES [ NO ] [SAVE] [YES ]	ボートに海水温度センサーが付いている場合。"-" を押し "NO" を選択するか、"+" を押し "YES" を選択します。
CALIBRATION EXTERNAL SENSORS STEERING SENSOR ? ▶YES [ NO ] [SAVE] [YES ]	ボートにステアリングセンサーが付いている場合。"-" を押し "NO" を選択するか、"+" を押し "YES" を選択します。
CALIBRATION EXTERNAL SENSORS INVERT STEERING ? ▶YES [ NO ] [SAVE] [YES ]	ステアリング表示の位置を変更する場合。"-" を押し "NO" を選択するか、"+" を押し "YES" を選択します。
CALIBRATION TRIM CALIBRATION [SKIP] [EDIT]	"EDIT" を選択し、ゲージの標準値である 0-10° のトリム及び 11-25° のトレーラー範囲を設定します。"SKIP" を選択すると、次の選択に進みます。



# SC 1000 タコメーター

タコメーターキャリブレーション - 外部センサー	
CALIBRATION DEPTH SENSOR OFFSET = 3 FEET [DOWN] [SAVE] [UP]	電子的に水深のオフセットを設定します。喫水線からのオフセットは、負数を入力します。正数の入力、キールのオフセットになります。"- "又は"+ "を押し、水深センサーのオフセットを"DOWN"又は"UP"します。
CALIBRATION DEPTH ALARM LEVEL = 2.5 FEET [DOWN] [SAVE] [UP]	水深を入力します。設定した水深を下回るとトランスデューサーが感知した場合、浅瀬のアラームが鳴ります。"- "又は"+ "を押し、浅瀬のアラームが鳴る水深を "DOWN" 又は "UP"させます。
SPEED UNITS <b>MPH</b> [DOWN] [SAVE] [UP]	速度表示の単位を次の中から選択します。MPH (マイル/h), KN (ノット)又はKMH (km/h)
DISPLAY UNITS <b>ENGLISH</b> [DOWN] [SAVE] [UP]	測定単位をEnglish 又は metricから選択します。"DOWN" 又は "UP" を選択し、"ENGLISH" 又は "METRIC" から選択します。
SIMULATOR MODE <b>NO</b> [ NO ] [SAVE] [ YES ]	シミュレーターモードを有効にします。(デモンストレーションの目的にのみ使用します。)
CALIBRATION <b>EXIT ?</b> [ NO ] [ YES ] [SCREENS]	"MODE/SELECT" ボタンを押して終了します。"- "を押すと終了せず、再度設定に戻ります。"+ "を押すと、"SCREENS" メニューを終了します。

## シミュレーターモード

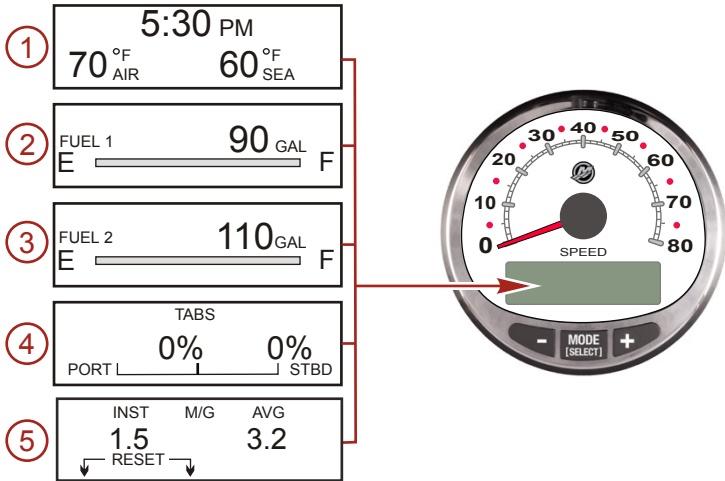
**注意:** シミュレーターモードは、ゲージがパワーパッケージに接続されていない状態で、視覚的表示の目的にのみ使用することができます。

シミュレーターモード	
SIMULATOR MODE <b>NO</b> [ NO ] [SAVE] [ YES ]	シミュレーターモードを有効にします。(デモンストレーションの目的にのみ使用します。)

# SC 1000 スピードメーター

## スピードメーター 表示画面

注意: エンジンモデル及びボートのオプションによって、全ての画面が表示されない場合があります。



キースイッチをONにすると、スピードメーターの表示は、キースイッチをOFFした時の表示になります。

"MODE/SELECT" を押すと、表示画面が変わります。以前の画面に戻る場合は、"MODE/SELECT" ボタンを2秒間押し続けます。

注意: 表示は、インチ又はメートルで表記できます。スピードメーター画面を参照してください。

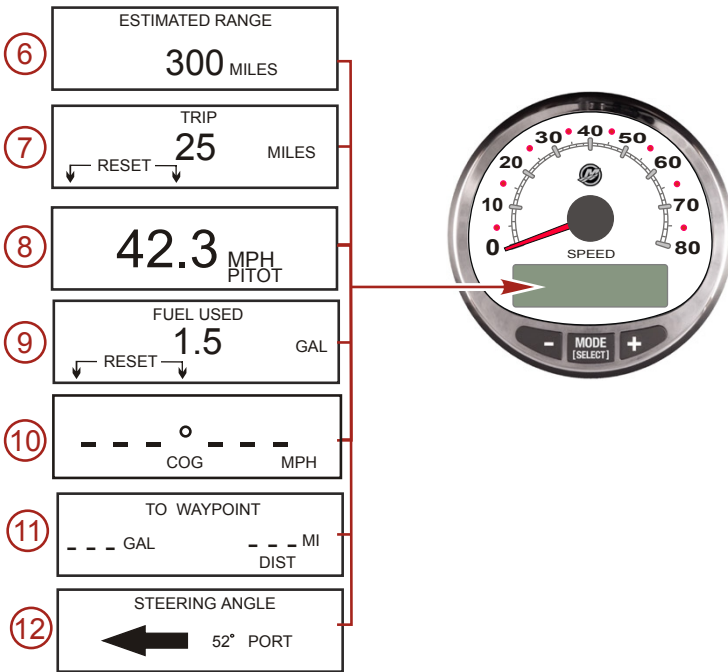
注意: 説明は、ゲージの表示に一致しない場合があります。表示は、エンジンのタイプにより異なります。

1. **Clock - Temp:** 時計、外気温度、水温。表示させるためには、外気温度及び水温センサーを接続しなければなりません。
2. **Fuel 1:** フューエルタンク1の残量を表示します。
3. **Fuel 2:** フューエルタンク2、水/汚水タンク(該当する場合)の残量を表示します。この画面は、OptiMax船外機の場合、自動的にエンジンオイルタンク用となります。

# SC 1000 スピードメーター

- 4. Tabs:** 左右にあるタブの位置を%で表示します。
- 5. Fuel Economy:** 平均 "AVG" の燃費だけでなく、瞬間の "INST" 燃費も表示します。表示する数値は、マイル/ガロン "M/G" 又はキロ/リットル "KM/L" から選択できます。燃費のリセット: 画面を選択し、"MODE/SELECT" & "-" を同時に押すと、表示をリセットできます。

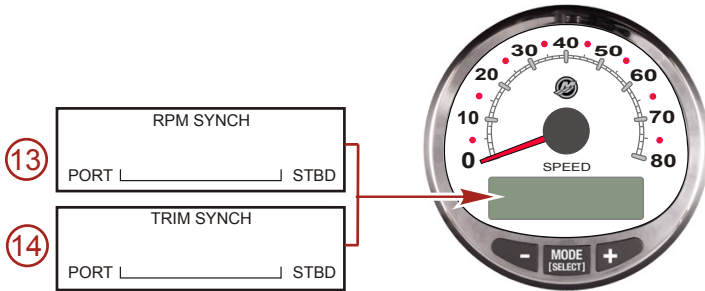
*注意: エンジンモデル及びボートのオプションによって、全ての画面が表示されない場合があります。*



- 6. Estimated Range:** 推定距離は、ボートの速度、燃費、燃料の残量に基づいています。表示される数値は、残りの燃料で走行できる推定距離を示します。速度の入力が必要です。(パドルホイール、ピトーセンサー、GPS)
- 7. Trip:** ゲージが0にリセットされた後の航行距離を表示します。リセット: リセットを行うためには、"MODE/SELECT" & "-" を同時に押します。

## SC 1000 スピードメーター

8. **Speedometer:** ボートの速度を、マイル、キロメートル、ノットで表示します。スピードメーターは、低速ではパドルホイールを使用し、高速ではピトー又はGPS(接続されている場合)に切替えます。
9. **Fuel Used:** ゲージを0にリセットした後の使用した燃料の量を表示します。**Reset:** fuel used画面をリセットするためには、"MODE/SELECT" & "-" を同時に押します。
10. **Course Over Ground:** GPSを通じて、現在の速度及び進行方向を表示します。
11. **To Waypoint:** 目的地までの距離及び必要な燃料の量を表示します。目的地までの距離を表示するためには、GPS を取付けなければなりません。
12. **Steering Angle:** ステアリングシステムの相対的な位置を表示します。マークルーザーモデルにのみ使用できます。エンジンに舵角センサーを取付ける必要があります。
13. **RPM Synchronizer:** 2基掛けのみ - 両方のエンジン回転数をモニターします。



14. **Trim Synchronizer:** 2基掛けのみ - 両方のエンジントリム位置を表示します。トリム位置を均一にします。



# SC 1000 スピードメーター スピードメーターキャリブレーションメニュー

## 速度制御、ライト、濃淡、時間



### スピードメーターキャリブレーションメニュー

1. "MODE/SELECT" 及び "+" ボタンを"MENU" が画面に表示されるまで同時に2秒間押し続けます。
2. "MODE/SELECT" を押し、speed controlを"SKIP"スキップして、キャリブレーションメニューを進みます。
3. "+" 又は "-" を押し、設定を変更します。

キャリブレーションメニュー	
<p>SPEED CONTROL TROLL CONTROL ? ENABLED [ NO ] [SAVE] [ YES ]</p>	<p>トロールコントロールは、エンジン回転数を使用するように、タコメーターで設定しなければなりません。トロール機能を制御するためにエンジン回転数を使用すると、ボートの速度は、風、波、潮流の影響を受けて変化します。</p>
<p>LIGHT [DOWN] [SAVE] [ UP ]</p>	<p>ゲージライトの照度を調整します。</p>
<p>CONTRAST [DOWN] [SAVE] [ UP ]</p>	<p>表示画面の濃淡を調整します。</p>

# SC 1000 スピードメーター

キャリブレーションメニュー	
<p>REMOTE LCD LIGHT ?</p> <p>[ NO ]      [SAVE]      [YES ]</p>	<p>このゲージから全てのゲージの照明レベルを調整します。"YES" を選択すると、システム内の全てのスピードメーターが、このスピードメーターの設定と同じになります。この機能を有効にするためには、全ての設定を"YES" にする必要があります。</p>
<p>REMOTE LCD CONTRAST ?</p> <p>[ NO ]      [SAVE]      [YES ]</p>	<p>このゲージから全てのゲージの濃淡レベルを調整します。"YES" を選択すると、システム内の全てのスピードメーターが、このスピードメーターの設定と同じになります。この機能を有効にするためには、全ての設定を"YES" にする必要があります。</p>
<p>SPLASH SCREEN</p> <p><b>MERCURY</b></p> <p>[SKIP]      [EDIT ]</p>	<p>スプラッシュ画面の名前を編集することができます。"+" を押し、名前を編集するか、"MODE/SELECT" を押し、スプラッシュ画面の名前を編集をスキップします。</p>
<p>SPLASH SCREEN</p> <p><b>MERCURY</b></p> <p>[DOWN]      [NEXT]      [ UP ]</p>	<p>スプラッシュ画面の名前は、9スペース入力できます。各スペースには、空白を含む59文字が用意されています。 "-" 又は "+" ボタンを押し、文字を変更します。"MODE/SELECT" ボタンを押し、次のスペースに進みます。スプラッシュ画面オプションを終了する前に、全てのスペースに入力する必要があります。</p>
<p>LOCAL LIGHT</p> <p>[DOWN]      [SAVE]      [ UP ]</p>	<p>ローカル画面のライトのレベルを調整できます。</p>
<p>MENU</p> <p><b>TIME</b></p> <p>[ SKIP ]      [EDIT ]</p>	<p>時間を設定します。"EDIT" を選択し、時間を設定するか、"SKIP" を選択して次の画面に進みます。</p>
<p>CALIBRATION</p> <p>TIME FORMAT</p> <p>12H - M, D, Y</p> <p>(DOWN)      (SAVE)      ( UP )</p>	<p>時間を12時間、月/日/年で表示するか、24時間、日/月/年で表示するかを選択します。"DOWN" 又は"UP"で、選択を変更します。</p>

# SC 1000 スピードメーター

キャリブレーションメニュー	
CALIBRATION USE GPS TIME DISABLED ( NO ) ( SKIP ) ( YES )	GPS が取付けられGPSが有効になっている場合、スピードメーターは、GPSが受信した時刻を表示します。これは、タイムゾーンを横断する際に自動的に時間を調整するため便利です。
CALIBRATION UTC ZONE UTC CORRECTION = 0 H [DOWN] [SAVE] [ UP ]	GPS の時間が UTC ゾーンを有効としている場合、-13 H ~ 13 Hの範囲で変更することができます。"- " を選択して"DOWN"するか"+" を選択して"UP"します。
CALIBRATION HOUR 1:42 <sup>PM</sup> (DOWN) (SAVE) ( UP )	現地時間に合わせて、時間を調整します。 "DOWN" 又は "UP" を選択して、時間を設定します。
CALIBRATION MINUTE 1:42 <sup>PM</sup> (DOWN) (SAVE) ( UP )	現地時間に合わせて、分を調整します。 "DOWN" 又は "UP" を選択して、分を設定します。

## スピードメーター画面

このキャリブレーションでは、システム画面をON/OFFします。  
 注意: エンジンモデル及びボートのオプションによって、全ての画面が表示されない場合があります。

- "MODE/SELECT" 及び "+" ボタンを"SCREENS"が表示されるまで7秒間同時に押し続けます。
- "-" 又は "+" ボタンを押し、画面の [ ] 内に表示されるオプションから選択します。
- "MODE/SELECT" を押し、設定を保存し、キャリブレーション画面を次に進みます。

## 画面

スピードメーター表示画面	
TO WAYPOINT SCREEN ? YES ( NO ) ( SAVE ) ( YES )	目的地の画面を表示します。"YES" でONになり "NO" でOFFになります。この画面を有効にするためには、GPS画面をONにしなければなりません。

# SC 1000 スピードメーター

スピードメーター表示画面	
WAYPOINT ALARM ? <b>YES</b> ( NO ) ( SAVE ) ( YES )	目的地のアラームを表示します。"YES" でONになり "NO" でOFFになります。この画面を有効にするためには、GPS画面をONにしなければなりません。
WAYPOINT ALARM DISTANCE = 0.3 MILES ( DOWN ) ( SAVE ) ( UP )	アラームが作動する目的地からの距離を設定します。"- " ボタンを押すと距離が減り、"+ " を押すと距離が増えます。デフォルトの距離設定は、0.3マイルです。
STEERING ANG. SCREEN ? <b>YES</b> [ NO ] [SAVE] [ YES ]	舵角を表示します。"YES" でONになり "NO" でOFFになります。
TEMP/CLOCK SCREEN ? <b>YES</b> [ NO ] [SAVE] [ YES ]	外気温度と時間を分割表示します。"YES" でONになり "NO" でOFFになります。
FUEL USED SCREEN ? ( NO ) ( SAVE ) ( YES )	燃料消費を表示します。"YES" でONになり "NO" でOFFになります。
TRIP SCREEN <b>YES</b> ( NO ) ( SAVE ) ( YES )	トリップ画面を表示します。"YES" でONになり "NO" でOFFになります。
FUEL MGMNT SCREEN <b>YES</b> ( NO ) ( SAVE ) ( YES )	燃料の管理画面を表示します。"YES" でONになり "NO" でOFFになります。
TABS SCREEN ? <b>YES</b> ( NO ) ( SAVE ) ( YES )	タブの画面を表示します。"YES" でONになり "NO" でOFFになります。

# SC 1000 スピードメーター

スピードメーター表示画面	
<p style="text-align: center;">SCREENS <b>EXIT ?</b></p> <p>[ NO ]      [ YES ]      [ CAL ]</p>	<p>"NO" を選択すると、画面の選択に戻り、"YES" を選択すると画面を終了します。"CAL" を選択すると、タンクレベルの設定に進みます。キャリブレーション-燃料消費を参照してください。</p>

## キャリブレーション - 燃料消費

1. "MODE/SELECT" 及び "+" ボタンを"SCREENS"が表示されるまで7秒間同時に押し続けます。
2. "MODE/SELECT" を押し、EXIT ? が表示されるまで画面を進めます。"+" ボタンを押し、Calibration-Fuel Usedに進みます。

燃料消費	
<p style="text-align: center;">CALIBRATION FUEL USED</p> <p style="text-align: center;">(SKIP)      (EDIT)</p>	<p>燃料消費の設定方法を選択します。"+" を押し、"EDIT" を選択するか"MODE/SELECT" を押して、設定をスキップします。</p>
<p style="text-align: center;">FUEL USED CAL : ENTER MULTIPLIER, OR REFUELED ?</p> <p>[MULT]      [FUEL]</p>	<p>燃料消費設定の方法を乗数又は給油の何れかから選択します。"- " を押して乗数"MULT"を選択するか、"+" を押して給油"FUEL"を選択します。</p>
<p style="text-align: center;">FUEL USED CAL : MULTIPLIER = 1.0</p> <p>[DOWN]      [SAVE]      [ UP ]</p>	<p>0.50 から 1.50の乗数を調整します。"- " で "DOWN"を選択するか "+" で "UP"を選択します。</p> <p>乗数は、燃料消費のエラーを修正するためにフューエルゲージセンサーを微調整します。ゲージが10ガロンの燃料を消費したと示しているにも拘らず、実際には14ガロンの燃料を給油した場合、乗数を1.40に変更します。ゲージが10ガロンの燃料を消費したと示しているにも拘らず、実際には8ガロンの燃料を給油した場合、乗数を0.80に変更します。</p>

# SC 1000 スピードメーター

燃料消費	
FUEL USED CAL : AMOUNT REFUELED = 0.0 G [DOWN] [SAVE] [ UP ]	<p>燃料消費の設定を燃料の給油量で調整します。"- "で "DOWN"を選択するか "+" で"UP"を選択します。</p> <p>フューエルオプションの機能は、乗数と同じです。ゲージが10ガロンの燃料を消費したと示しているにも拘らず、実際には14ガロンの燃料を給油した場合、給油量を14.0に変更します。ゲージが10ガロンの燃料を消費したと示しているにも拘らず、実際には8ガロンの燃料を給油した場合、給油量を8.0に変更します。ゲージは、乗数を計算し、自動的に数値を変更します。</p>

## 外部センサーのキャリブレーション

1. "MODE/SELECT" 及び "+" ボタンを"SCREENS"が表示されるまで7秒間同時に押し続けます。
2. "MODE/SELECT" を押し、EXIT ?が表示されるまで画面を進めます。"+"ボタンを押し、Fuel Tank Calibrationに進みます。
3. "MODE/SELECT" を押し、Calibration-External Sensorsの選択まで進みます。

外部センサー	
CALIBRATION EXTERNAL SENSORS  (SKIP) (EDIT)	<p>システムに取付けられた外部センサーの設定を行います。"SKIP" を選択すると speed optionsに進みます。"EDIT" を選択すると外部センサーの選択に進みます。</p>
CALIBRATION EXTERNAL SENSORS AIRTEMP ? ▶YES ( NO ) (SAVE) ( YES )	<p>外気温度センサーが付いている場合。"- " を押し "NO"を選択するか、"+" を押し"YES"を選択します。</p>
CALIBRATION EXTERNAL SENSORS GPS ? ▶YES ( NO ) (SAVE) ( YES )	<p>GPS が付いている場合。"- " を押し "NO"を選択するか、"+" を押し"YES"を選択します。</p>

# SC 1000 スピードメーター

外部センサー	
CALIBRATION EXTERNAL SENSORS USE GPS SPEED ? ▶YES ( NO ) (SAVE) ( YES )	速度の表示にGPS 入力を使用する場合。 "-"を押し "NO"を選択するか、"+" を押し "YES"を選択します。
CALIBRATION SEA TEMP OFFSET = 0 °F (DOWN) (SAVE) ( UP )	海水温度センサーの表示の誤差を修正しま す。 "-" 又は "+" を押し、温度表示を "DOWN" 又は "UP"します。

## 表示単位

1. "MODE/SELECT" 及び "+" ボタンを"SCREENS"が表示されるまで7秒間同時に押し続けます。
2. "MODE/SELECT" を押し、EXIT? が表示されるまで画面を進めます。 "+"ボタンを押し、Fuel Tank Calibrationに進みます。
3. "MODE/SELECT" を押し、表示単位に進みます。

表示単位	
SPEED UNITS <b>MPH</b> [DOWN] [SAVE] [ UP ]	速度表示の単位を次の中から選択します。 MPH (マイル/h), KN (ノット)又はKMH (km/h)
DISPLAY UNITS <b>ENGLISH</b> [DOWN] [SAVE] [ UP ]	測定単位をEnglish 又は metricから選択しま す。 "DOWN" 又は "UP" を選択し、 "ENGLISH" 又は "METRIC" から選択しま す。
シュミレーターモード	シュミレーターモードを参照してください。
CALIBRATION <b>EXIT ?</b> [ NO ] [ YES ] [SCREENS]	"NO"を選択すると、再度設定に戻りま す。 "YES"で終了するか、"SCREENS" を選 択し、画面の選択に進みます。

## シュミレーターモード

注意: シュミレーターモードは、ゲージがパワーパッケージに接続されていない状態で、視覚的表示の目的にのみ使用することができません。

# SC 1000 スピードメーター

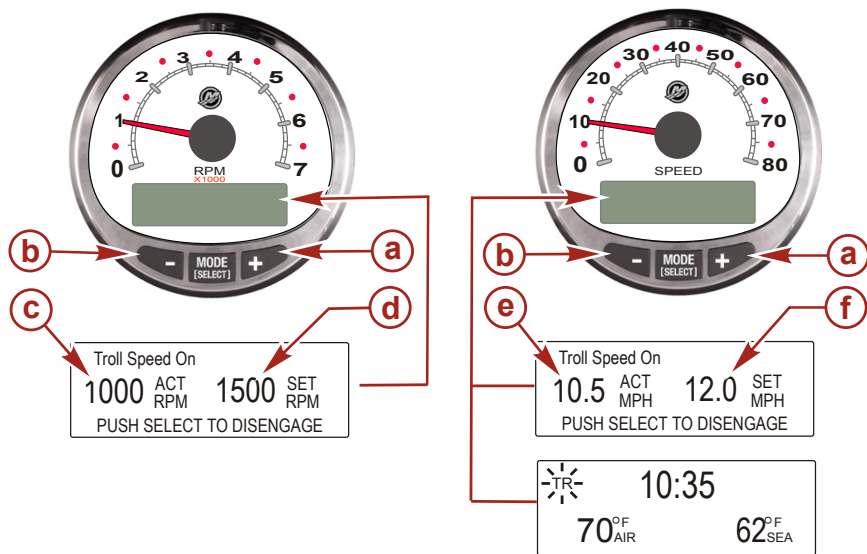
シュミレーターモード	
<p>SIMULATOR MODE</p> <p><b>NO</b></p> <p>[ NO ]    [SAVE]    [YES]</p> <p>46443</p>	<p>シュミレーターモードを有効にします。(デモンストレーションの目的にのみ使用します。)</p>



# トロールコントロール

## トロールコントロールの操作

**注意:** トロールコントロールの機能は、システムタコメーター及びスピードメーターにのみ用意されています。



- a** - トロール速度を上げる
- b** - トロール速度を下げる
- c** - 実際の回転数
- d** - 設定回転数
- e** - 実際の速度
- f** - 設定速度

**注意:** トロールコントロールは、使用できないモデルもあります。

**注意:** トロールコントロールの設定回転数の範囲は、エンジンのモデルにより異なります。

トロールコントロールの設定は、システムタコメーター又はスピードメーターで行います。スピードメーターは、速度を MPH、KPH、KNで設定し、タコメーターは、回転数で設定します。

トロールコントロールは、いつでもスロットルの調整又はトロール表示画面の状態、"MODE/SELECT" ボタンを押すことにより、解除することができます。

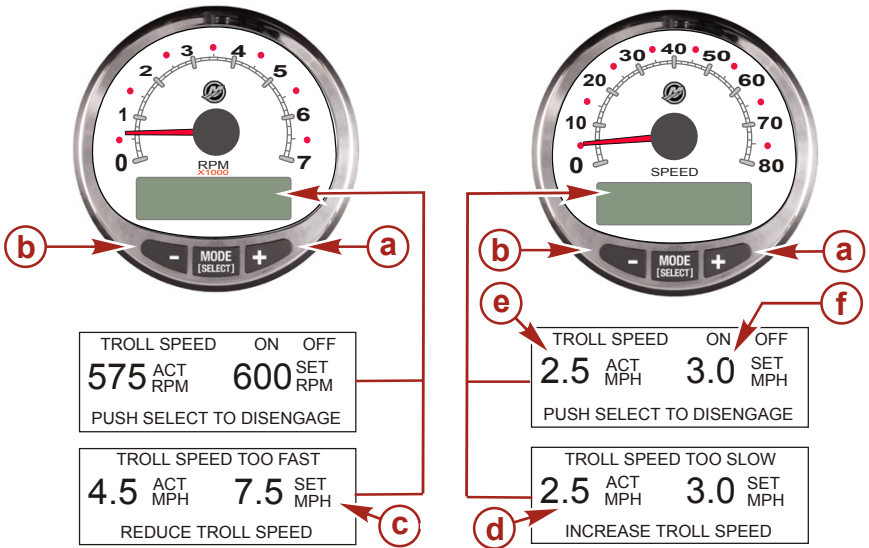
# トロールコントロール

トロールコントロールを停止しても、システムは設定速度を記憶しています。トロールコントロールを有効にした場合、設定速度に戻ります。

5秒間操作を何も行わない場合、画面は以前の画面に戻ります。"+" 又は "-" ボタンを押し、トロールコントロール表示画面を有効にします。

トロールコントロールが有効になっている場合、トロールコントロール以外の画面では、"TR" の表示が左上に点滅表示され、トロールコントロールが有効になっていることを知らせます。

## トロールコントロールの設定



- a** - トロール設定速度を上げる
- b** - トロール設定速度を下げる
- c** - 設定速度が速過ぎます。トロール速度を下げます
- d** - 設定速度が遅過ぎます。トロール速度を上げます
- e** - 実際の速度
- f** - 設定速度

1. エンジン運転状態で、シフトを入れます。エンジンをアイドリング状態にします。

## トロールコントロール

2. "+" 又は "-" ボタンを押し、トロールコントロール表示画面を表示させます。
3. "MODE/SELECT" ボタンを押し、トロールコントロールを有効にします。
4. "+" 及び "-" ボタンを使用し、希望の速度に設定します。  
"+" を使用して速度を上げ、 "-" を使用して設定速度を下げます。
5. トロール速度が制御できる範囲を上回っている場合、  
"TROLL SPEED TOO FAST" の表示が現れます。この場合、設定速度を下げます。
6. トロール速度が制御できる範囲を下回っている場合、  
"TROLL SPEED TOO SLOW" の表示が現れます。この場合、設定速度を上げます。

### トロールコントロールを終了する

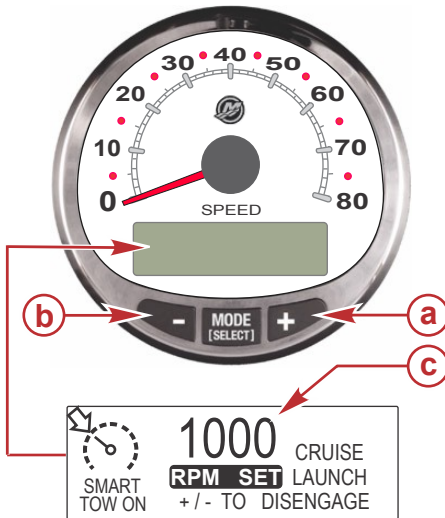
トロールコントロールを終了するためには、3つの方法があります。

- トロール表示画面の際に、"MODE/SELECT" ボタンを押し  
ます。
- スロットルを操作し、回転数を変化させます。
- シフトをニュートラルにします。

# スマートトウ

## クルーズコントロールの操作

**注意:** クルーズコントロールは、2007年以降のDTSエンジンでのみ機能します。



- a - 設定回転数を上げます
- b - 設定回転数を下げます
- c - 回転数を設定します

**注意:** クルーズコントロールの調整できる範囲は、エンジンモデルにより異なります。

クルーズコントロールには、2つのモードがあります。: "RPM MODE" & "SPEED MODE"です。スマートトウタコメーター又はスマートトウスピードメーターで "RPM MODE" を設定します。ランチコントロールは、選択したモードに影響されます。

"SELECT"ボタンを3秒間押し続け、"SPEED MODE" 及び "RPM MODE"を切替えます。

**重要:** スマートトウスピードメーターのみ "RPM MODE" & "SPEED MODE"を切替えることができます。スマートトウタコメーターは、"SPEED MODE" を "RPM MODE" にできるだけです。

クルーズコントロールは、"+" & "-" ボタンを同時に押すことで、いつでも停止することができます。

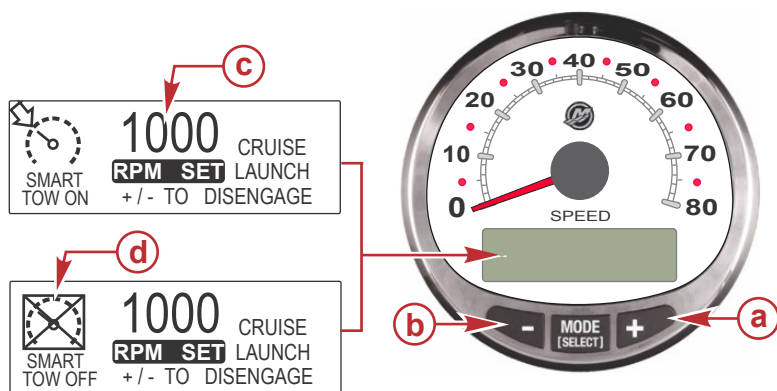
# スマートトウ

クルーズコントロール作動中に設定回転数以下の回転数にリモコンで調整した場合、リモコンに応じて回転数が変化します。回転数を設定回転数異常にリモコンで調整した場合、エンジン回転数は、設定した回転数に自動的に調整されます。

クルーズコントロールを解除しても、設定した回転数は、記憶されます。クルーズコントロールを有効にした場合、設定した回転数を超えた場合は、自動的に設定した速度に調整されます。

"SELECT" を2回押すと、クルーズコントロール画面を終了します。

## システムの ON/OFF



- a - 設定回転数を上げる
- b - 設定回転数を下げる
- c - 回転数を設定する
- d - クルーズコントロールをOFFにする

## クルーズコントロールの設定

### クルーズコントロール回転数の設定

1. "+" 又は "-" ボタンを押し、クルーズコントロール表示画面を起動します。
2. 希望の巡航回転数に設定します。スロットルが全開になっている場合、設定された回転数は、最高速度になります。

# スマートトウ

3. "+" & "-" ボタンを同時に押し、クルーズコントロールを有効にします。

**注意:** クルーズコントロールは、両方のゲージを有効なクルーズコントロール設定表示の状態と接続しなければなりません。

## クルーズコントロールの停止

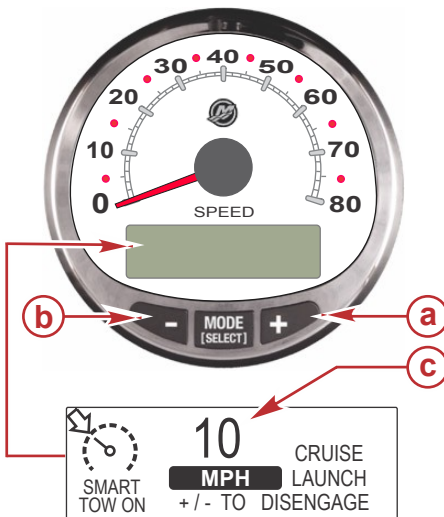
クルーズコントロールを停止するためには、"+" & "-" ボタンを同時に押します。

## 正確な速度制御のキャリブレーション (オプション)

GPSスピードメーターを使用するスマートトウは、設定した巡航速度を 0.8 km/h (0.5 MPH) の範囲内の誤差で維持することができます。それは、速度制御機能の一環として通常運転状態の中で、自動的に行われます。

## 正確な速度制御のキャリブレーション

**注意:** クルーズコントロールは、2007年以降のDTSエンジンでのみ機能します。



- a - 設定速度を上げる
- b - 設定速度を下げる
- c - 巡航速度を設定する

クルーズコントロールには、2つのモードがあります。: "RPM MODE" & "SPEED MODE"です。スマートトウタコメーター又はスマートトウスピードメーターで "RPM MODE" を設定します。発進コントロールは、選択したモードに影響されます。

# スマートトウ

"SELECT"ボタンを3秒間押し続け、"SPEED MODE" 又は "RPM MODE"を選択します。

**重要:** スマートトウスピードメーターのみ "RPM MODE" & "SPEED MODE"を切替えることができます。スマートトウタコメーターは、"SPEED MODE" を "RPM MODE" にできるだけです。

## クルーズコントロールの起動

1. "+" 又は "-" ボタンを押し、クルーズコントロール表示画面を起動します。
2. 速度を10 MPHに設定します。
3. "+" & "-" ボタンを同時に押し、クルーズコントロールを起動します。リモコンが全開の場合、設定速度までエンジン回転数が上昇します。
4. 10 MPH で20秒間走行した後、速度を1 MPH上げます。
5. 11 MPH で20秒間走行した後、速度を1 MPH上げます。
6. この手順をボートが最高速度に達するまで続けます。

## クルーズコントロールの終了

クルーズコントロールを終了させるためには、"+" & "-" ボタンを同時に押します。

クルーズコントロールを解除しても、設定した回転数は、記憶されます。クルーズコントロールを有効にした場合、設定した回転数を超えた場合は、自動的に設定した速度に調整されます。

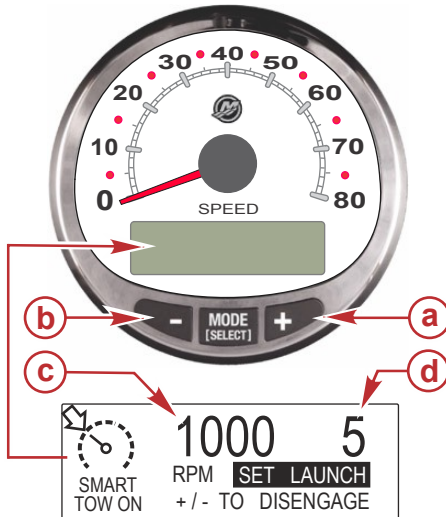
"SELECT" を2回押すと、クルーズコントロール画面を終了します。

**重要:** Master Reset を行うと、全ての設定が工場出荷段階のデフォルトに戻ります。

# スマートトウ

## 発進コントロールの操作

**NOTE:** 発進コントロールは、2007年以降のDTSエンジンでのみ機能します。



- a - 発進コントロールの設定を上げる
- b - 発進コントロールの設定を下げる
- c - クルーズ回転数を設定する
- d - 発進コントロールの設定

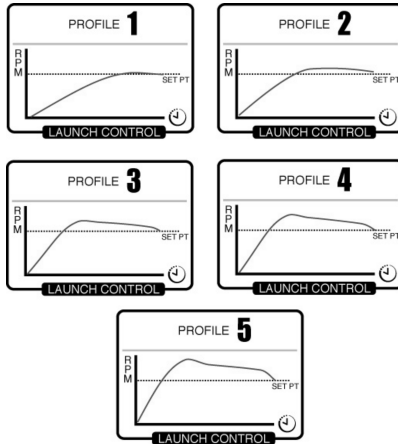
## 基本操作

発進コントロールは、設定した巡航速度に以下に早く到達するかを決定します。



# スマートトウ

発進コントロールは、スマートトウタコメーター及びスマートトウスピードメータどちらでも設定できます。設定は、1の最も穏やかな加速から、最も激しい加速の5段階から選択します。"SELECT"を一度押し、発進コントロールをハイライトさせます。"+"を押し、発進コントロールの設定を上げます。"- "を押し、発進コントロールの設定を下げられます。これは、"RPM MODE"又は"SPEED MODE"何れでもできます。発進コントロールの設定は、変更するまで記憶されます。



クルーズコントロールが有効になり、発進コントロールの設定が選択されていない場合、("CRUISE"が表示)発進の加速は、回転数の設定値までPCMによって制御されます。

表示画面は、5秒後に"RPM SET"画面に戻ります。"SELECT"を押し、発進コントロール表示画面をハイライトさせます。

## 発進コントロールの設定

発進コントロールには、2つのモードがあります。"RPM MODE" & "SPEED MODE"です。発進コントロールの設定は、スマートトウスピードメーターの"SPEED MODE"で行います。クルーズコントロールは、選択した制御モードを継承します。

"SELECT"ボタンを3秒間押し続け、"SPEED MODE"及び"RPM MODE"を切替えます。

# スマートトウ

**重要:** スマートトウスピードメーターのみ "RPM MODE" & "SPEED MODE"を切替えることができます。スマートトウタコメーターは、"SPEED MODE" を "RPM MODE" にできるだけです。

1. "+" 又は "-"を押し、クルーズコントロール画面を表示します。
2. "SELECT"ボタンを押し、"SET LAUNCH"をハイライトします。
3. "+" を押し、設定を上げます。 "-" を押し、設定を下げます。
4. 発進コントロールは、クルーズコントロールと共に自動的に起動します。

クルーズコントロールが有効になり、発進コントロールの設定が選択されていない場合、("CRUISE" が表示)発進の加速は、回転数の設定値までPCMによって制御されます。

表示画面は、5秒後に"RPM SET"画面に戻ります。"SELECT"を押し、発進コントロール表示画面をハイライトさせます。

## 発進コントロールの停止

発進コントロールは、クルーズコントロールをOFFにすると停止します。

## カスタマイズされた発進の設定を作成する

5番の発進の設定を超えて、8のカスタマイズされた発進の設定になります。各カスタマイズされた発進設定には、識別のために7文字までのアルファベット名前を付けることができます。カスタム発進設定は、回転数又は速度によって制御されます。速度での制御を行なう場合、GPS をスマートクラフトゲージにジャンクションボックスを通して接続しなければなりません。

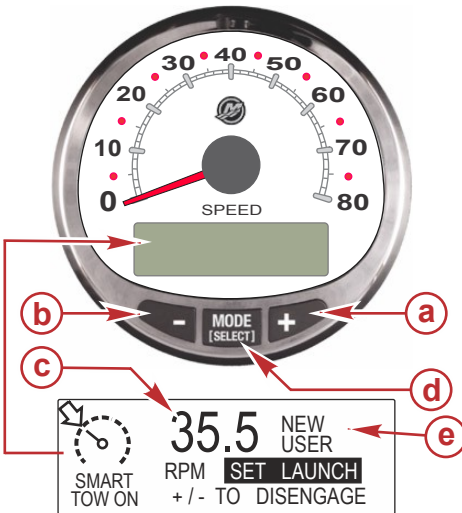
**注意:** 発進のカスタマイズが起動状態で、スマートトウ設定点を変更した場合、設定点は自動的に記憶されます。

1. "SELECT" ボタンを押し、"SET LAUNCH"をハイライトします。
2. 発進コントロールの設定を5番まで進めます。

発進コントロールの設定の5番を超えます。5番の後に、"NEW USER" 発進コントロールの設定が起動します。

# スマートトゥ

3. カスタマイズされた発進の設定が表示されるまで"SELECT" ボタンを3秒間押し続けます。



- a - 発進コントロールの設定を上げる
- b - 発進コントロールの設定を上げる
- c - クルーズ回転数を設定する
- d - "SELECT" botan
- e - 発進コントロールの設定

発進設定のカスタマイズ									
<table border="1"> <tr> <td>NAME</td> <td>AAAAAAA</td> </tr> <tr> <td>RPM SET</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>MPH SET</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>[DOWN]</td> <td>[EDIT]</td> </tr> </table>	NAME	AAAAAAA	RPM SET	1000	MPH SET	10.0	[DOWN]	[EDIT]	"SELECT"ボタンを押し、名前を編集します。
NAME	AAAAAAA								
RPM SET	1000								
MPH SET	10.0								
[DOWN]	[EDIT]								
<table border="1"> <tr> <td><b>AAAAAAA</b></td> </tr> <tr> <td>[ ↓ SAVE ↓ ]</td> </tr> <tr> <td>[SCRL ↓] [NEXT] [SCRL ↑]</td> </tr> </table>	<b>AAAAAAA</b>	[ ↓ SAVE ↓ ]	[SCRL ↓] [NEXT] [SCRL ↑]	"-" 又は "+" ボタンで、アルファベットをスクロールします。"SELECT"ボタンで文字を保存し、次のアルファベット文字に移動します。"." & "SELECT" を押し、カスタマイズした名前を保存します。					
<b>AAAAAAA</b>									
[ ↓ SAVE ↓ ]									
[SCRL ↓] [NEXT] [SCRL ↑]									
<table border="1"> <tr> <td>NAME</td> <td>AAAAAAA</td> </tr> <tr> <td><b>RPM SET</b></td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>MPH SET</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>[DOWN]</td> <td>[EDIT] [ UP ]</td> </tr> </table>	NAME	AAAAAAA	<b>RPM SET</b>	1000	MPH SET	10.0	[DOWN]	[EDIT] [ UP ]	"-" を押し、カーソルを"RPM SET"に移動させます。"SELECT" ボタンを押し、回転数を編集します。
NAME	AAAAAAA								
<b>RPM SET</b>	1000								
MPH SET	10.0								
[DOWN]	[EDIT] [ UP ]								
<table border="1"> <tr> <td>RPM SET</td> <td><b>1000</b></td> </tr> <tr> <td>[DOWN]</td> <td>[ OK ] [ UP ]</td> </tr> </table>	RPM SET	<b>1000</b>	[DOWN]	[ OK ] [ UP ]	"-" 又は "+" ボタンを押し、回転数の設定値を変更します。"SELECT" ボタンを押し、回転数の編集を終了します。				
RPM SET	<b>1000</b>								
[DOWN]	[ OK ] [ UP ]								

# スマートトゥ

発進設定のカスタマイズ													
<table border="1"> <tr> <td>NAME</td> <td>AAAAAAA</td> </tr> <tr> <td>RPM SET</td> <td>4225</td> </tr> <tr> <td><b>MPH SET</b></td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>[DOWN]</td> <td>[EDIT] [UP]</td> </tr> </table>	NAME	AAAAAAA	RPM SET	4225	<b>MPH SET</b>	10.0	[DOWN]	[EDIT] [UP]	<p>"-" を押し、カーソルを"MPH SET"に移動します。"SELECT" を押し、速度を編集します。</p>				
NAME	AAAAAAA												
RPM SET	4225												
<b>MPH SET</b>	10.0												
[DOWN]	[EDIT] [UP]												
<table border="1"> <tr> <td>MPH SET</td> <td><b>45.7</b></td> </tr> <tr> <td>[DOWN]</td> <td>[OK] [UP]</td> </tr> </table>	MPH SET	<b>45.7</b>	[DOWN]	[OK] [UP]	<p>"-" 又は "+" を押し、速度の設定を変更します。"SELECT" ボタンを押し、速度の編集を終了します。</p>								
MPH SET	<b>45.7</b>												
[DOWN]	[OK] [UP]												
<table border="1"> <tr> <td><b>LAUNCH</b></td> <td>1.0</td> <td>↑</td> </tr> <tr> <td>OVERSHOOT</td> <td>0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>DURATION</td> <td>0.0 S</td> <td>↓</td> </tr> <tr> <td>[DOWN]</td> <td>[EDIT] [UP]</td> <td></td> </tr> </table>	<b>LAUNCH</b>	1.0	↑	OVERSHOOT	0%		DURATION	0.0 S	↓	[DOWN]	[EDIT] [UP]		<p>"-" を押し、カーソルを"LAUNCH"に移動します。"SELECT" ボタンを押し、加速のレベルを編集します。</p>
<b>LAUNCH</b>	1.0	↑											
OVERSHOOT	0%												
DURATION	0.0 S	↓											
[DOWN]	[EDIT] [UP]												
<table border="1"> <tr> <td>LAUNCH</td> <td><b>4.7</b></td> </tr> <tr> <td>[DOWN]</td> <td>[OK] [UP]</td> </tr> </table>	LAUNCH	<b>4.7</b>	[DOWN]	[OK] [UP]	<p>"-" 又は "+" で、加速のレベルを1.0~5.0の間で変更します。"SELECT" ボタンを押し、"LAUNCH" の編集を終了します。</p>								
LAUNCH	<b>4.7</b>												
[DOWN]	[OK] [UP]												
<table border="1"> <tr> <td>LAUNCH</td> <td>4.7</td> <td>↑</td> </tr> <tr> <td><b>OVERSHOOT</b></td> <td>0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>DURATION</td> <td>0.0 S</td> <td>↓</td> </tr> <tr> <td>[DOWN]</td> <td>[EDIT] [UP]</td> <td></td> </tr> </table>	LAUNCH	4.7	↑	<b>OVERSHOOT</b>	0%		DURATION	0.0 S	↓	[DOWN]	[EDIT] [UP]		<p>"-" を押し、カーソルを"OVERSHOOT"に移動します。"SELECT" ボタンを押し、パーセンテージを編集します。</p>
LAUNCH	4.7	↑											
<b>OVERSHOOT</b>	0%												
DURATION	0.0 S	↓											
[DOWN]	[EDIT] [UP]												
<table border="1"> <tr> <td>OVERSHOOT</td> <td><b>12</b></td> </tr> <tr> <td>MAX :</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>[DOWN]</td> <td>[OK] [UP]</td> </tr> </table>	OVERSHOOT	<b>12</b>	MAX :	20%	[DOWN]	[OK] [UP]	<p>"-" 又は "+" を押し、0~20%の範囲で速度又は回転数を超える割合を編集します。"SELECT" を押し、"OVERSHOOT" の編集を終了します。</p>						
OVERSHOOT	<b>12</b>												
MAX :	20%												
[DOWN]	[OK] [UP]												
<table border="1"> <tr> <td>LAUNCH</td> <td>4.7</td> <td>↑</td> </tr> <tr> <td>OVERSHOOT</td> <td>12%</td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>DURATION</b></td> <td>0.0 S</td> <td>↓</td> </tr> <tr> <td>[DOWN]</td> <td>[EDIT] [UP]</td> <td></td> </tr> </table>	LAUNCH	4.7	↑	OVERSHOOT	12%		<b>DURATION</b>	0.0 S	↓	[DOWN]	[EDIT] [UP]		<p>"-" を押し、カーソルを"DURATION"に移動します。"SELECT" ボタンを押し、秒数を編集します。</p>
LAUNCH	4.7	↑											
OVERSHOOT	12%												
<b>DURATION</b>	0.0 S	↓											
[DOWN]	[EDIT] [UP]												

# スマートトウ

発進設定のカスタマイズ										
<table border="1"><tr><td>DURATION</td><td><b>3.4 S</b></td></tr><tr><td>[DOWN]</td><td>[ OK ] [ UP ]</td></tr></table>	DURATION	<b>3.4 S</b>	[DOWN]	[ OK ] [ UP ]	"-" 又は "+" を押し、有効な超過割合の秒数を編集します。秒数は、0~4です。ボタンを押し、"SELECT" "DURATION" の編集を終了します。					
DURATION	<b>3.4 S</b>									
[DOWN]	[ OK ] [ UP ]									
<table border="1"><tr><td>OVERSHOOT</td><td>12 %</td><td>↑</td></tr><tr><td>DURATION</td><td>0.0 S</td><td></td></tr><tr><td><b>EXIT</b></td><td>[ OK ]</td><td>[ UP ]</td></tr></table>	OVERSHOOT	12 %	↑	DURATION	0.0 S		<b>EXIT</b>	[ OK ]	[ UP ]	"-" を押し、カーソルを"EXIT"に移動します。"SELECT" ボタンを押し、発進の設定を終了するか、"+" を押して、発進設定のカスタマイズに戻ります。
OVERSHOOT	12 %	↑								
DURATION	0.0 S									
<b>EXIT</b>	[ OK ]	[ UP ]								

90-8M0081594JPN  
(ver.1)